

取扱説明書

DCS シリーズ用アプリケーション FreeWave



第1章 概要

FreeWave は USB 経由で PC から DCS シリーズのオシロスコープをリモートコントロールするアプリケーションです。

GUI による操作の他に、コマンドを使ってコントロールすることも可能です。

なお、コマンドの詳細はプログラミングマニュアルを参照してください。

1-1. FreeWave の動作環境

| | |
|-------------|---|
| 対象機種 | DCS-4605 DCS-7500 シリーズ DCS-7500A シリーズ DCS-9700 シリーズ |
| OS | Microsoft Windows7 以後 (32 ビット/64 ビット) |
| 必須 ライブラリ | Microsoft .NETFramework ver4.5 full 以後 Microsoft Visual C++2010 Redistributable Package(32bit/64bit) |
| USBドライバ | TEXIO-CDC.inf オシロスコープ本体に付属のドライバでも動作可能です |

アプリケーションをインストールする前に OS のプログラムの追加と削除で必須ライブラリがあることを確認し、存在しない場合はライブラリを環境に合わせてインストールしてください。またアプリケーションおよびライブラリのインストールには管理者権限が必要です。正しくインストールできない場合は Windows の UAC をオフに設定してください。

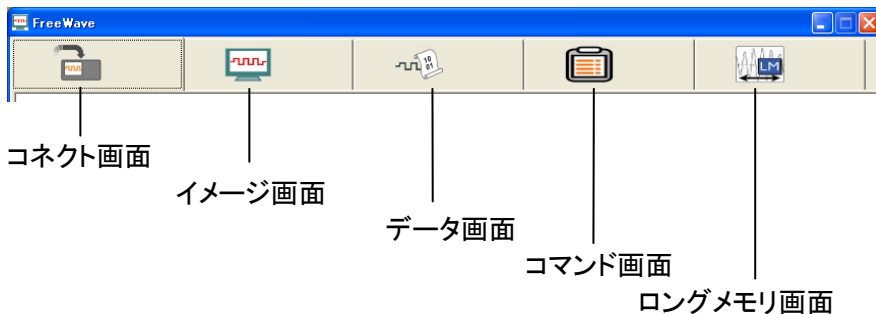
アプリケーション実行の前に USB ドライバをインストールしてください。

本アプリケーションはバージョンアップにより機能・画面表示が変更になることがあります。

対象機種以外の機器が接続されている場合は、正しく動作しない場合があります。

1-2. Free Wave のアイコンの説明

画面上部のアイコンを選択することで、5種類の画面を切り替えます。各画面のアイコンの機能は以下のようにになっています。

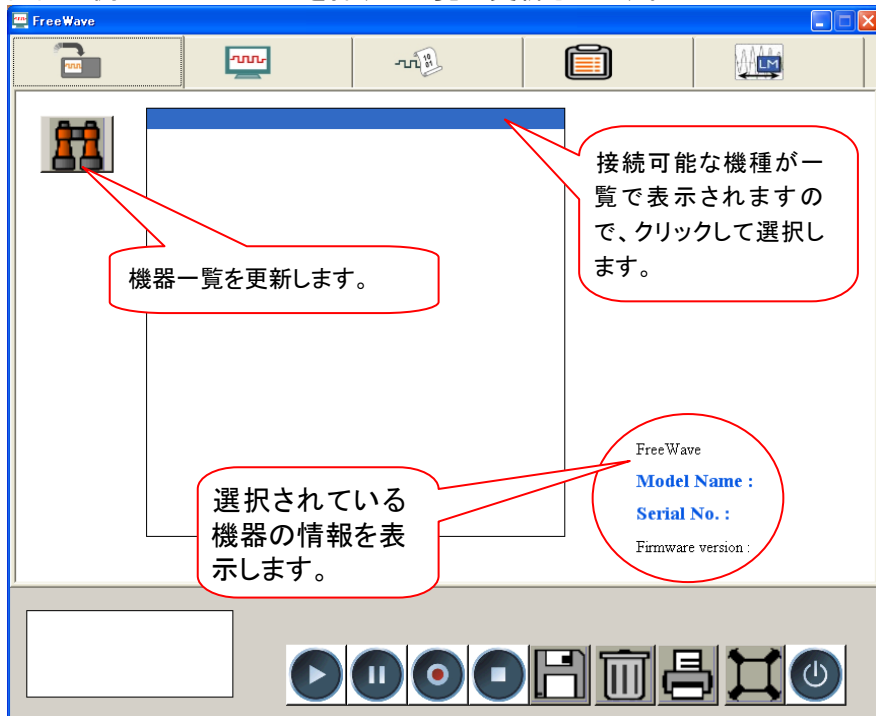


各画面は機器により対応しない場合があります。

第2章 機能

2-1. コネクト画面

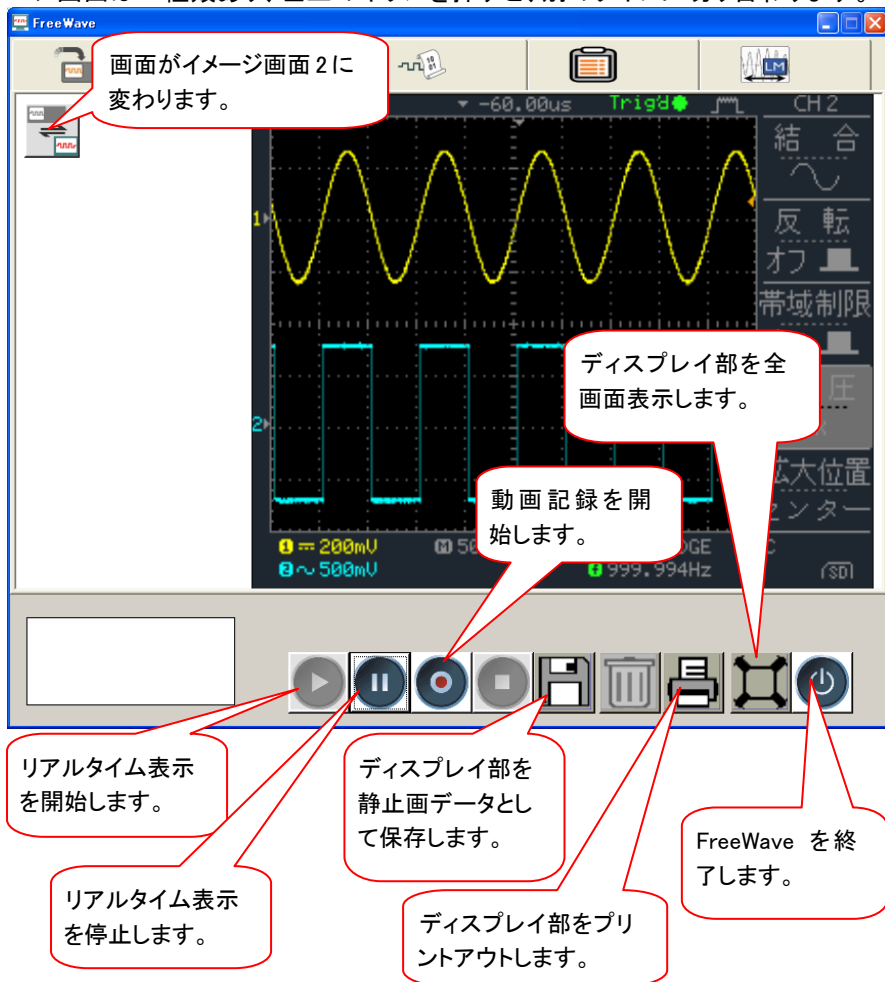
Free Wave からコントロールする機種を選択するための画面です。
画面左側の SCAN ボタンを押すと一覧が更新されます。



操作したい機器をクリックして選択し、ほかのアイコンをクリックしてください。
PCによってはアプリケーションの開始と機器の一覧取得に時間がかかる場合があります。(1分程度)

2-2. イメージ画面 1

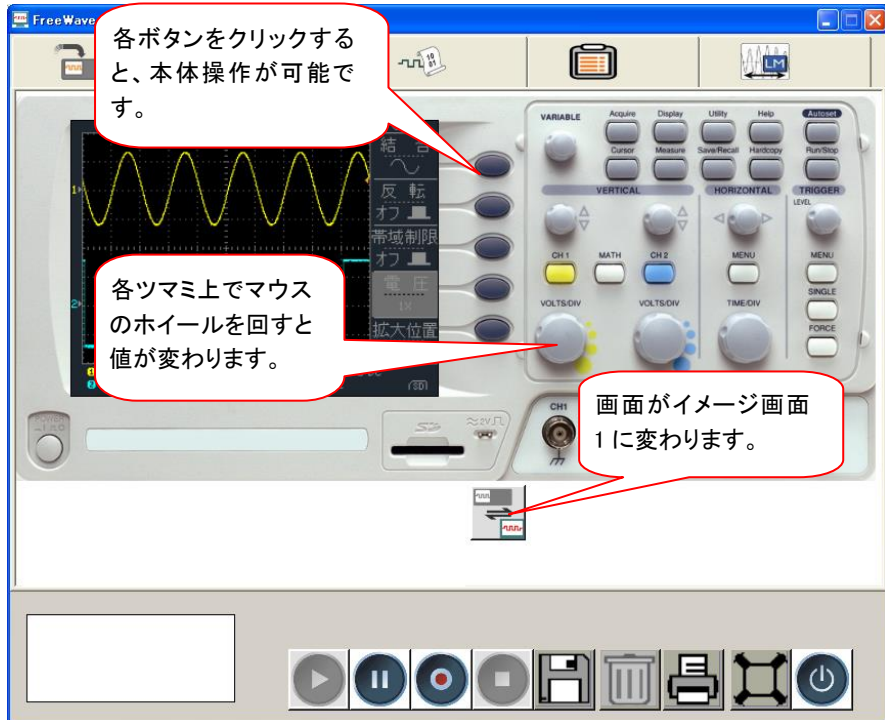
画面下の ▶ ボタンを押すと本体ディスプレイをリアルタイム表示します。表示されたイメージはプリントアウトやPC内にデータとして保存することができます。PCに保存できるイメージデータは静止画だけでなく、動画データとしても保存可能です。イメージ画面は2種類あり、左上のボタンを押すと、別のタイプに切り替わります。



DCS-9700 シリーズはメモリ長が大きいいためリアルタイム更新ではありません。
▶ ボタンを押すと表示を更新します。

2-3. イメージ画面 2

パネルのスイッチ部分をクリックしたり、つまみ上でマウスのホイールを回したりすることで、本体操作が可能です。本体の制限により使用できない機種があります。



各種 動画/静止画 保存が可能です。

・つまみの操作について

つまみをマウスで操作する場合、つまみの左右で動作が異なります。

つまみの上にカーソルを置くと変更のカーソルになり、左クリックでつまみの回転操作となります。

左側をクリックするとつまみを左回した時と同じ動作をします。



右側をクリックするとつまみを右回した時と同じ動作をします。

2-4. データ画面

画面下の ▶ ボタンを押すと本体の計測データ 4k ポイント(各 CH)を Free Wave 内に取り込み表示します。複数回取り込みを重ねることで、ソフト上に最大 10 個まで波形を重ねて表示することが可能です。本体の制限により使用できない機種があります。



DCS-9700 シリーズのデータ長は最大 2M ポイントとなります。

2-5. コマンド画面

画面左側にコマンド一覧がツリー表示されており、この中からコマンドを選択し画面右側に移動することで、コマンドリストが作成できます。画面下の ▶ ボタンを押すとコマンドリストの上から下に順にコマンドが実行されます。本体の制限により使用できない機種があります。

コマンド一覧からコマンドを選択し
⇒ボタンで右のコマンドリストに送り
ます。ツリー表示なので、+部をク
リックすると下位のコマンドが表示
されます。

クエリーでは応答が表示され、それ以外ではクリックして設定値をセットします

| | Set/Query |
|----------|-----------|
| *IDN | Query |
| .STOP | Set |
| .RUN | Set |
| MEAS:VPP | Query |

左右の表からコマンドを
選択し移動します。

コマンドを選択します。

クリックしてクエリーか実行
コマンドかを選択します。

保存されたコマンドリストを
呼出します。

コマンドリストを
実行します。

コマンドリストを保存
します。

FreeWave を終了
します。

表示されているコマンド
リストを消去します。

2-6. ロングメモリ画面

画面下の ▶ ボタンを押すと本体の波形データを 2ch 時各 1M ポイント、1ch 時 2M ポイントを Free Wave 内に取り込み表示します。本体の制限により使用できない機種があります。





株式会社 テクシオ・テクノロジー

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-18-13 藤和不動産新横浜ビル 7F

<http://www.texio.co.jp/>

アフターサービスに関しては下記サービスセンターへ

サービスセンター 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-18-13

藤和不動産新横浜ビル 8F

TEL.045-620-2786